

鹿大「進取の精神」支援基金 令和4年度留学生受入推進事業
協定校学部留学生地域交流推進プロジェクト参加者報告書

学生 情報	氏名 Name	ユン・ギホ
	出身国 Country	韓国
	出身大学 University	ジョージア大学

かごしまだいがく かつどう こんご てんぼう
鹿児島大学での活動と今後の展望

初めて鹿児島行きが決まった時、心配よりも興奮が大きかった記憶があります。まず、列島の最南端に位置しているとはいえ、韓国と近く、文化も似ていると考えていたからです。鹿児島に初めて到着した時、以前行った福岡や大阪とは全く違う印象でした。ただ単に都市の大きさの違いだけでなく、鹿児島独特の乗り物であるトラム(市電)と共にヨーロッパ風の建物たちがあったせいか、私が知っていた日本とは異なる異国情緒を受けました。

鹿児島大学で留学生と鹿児島現地学生と互いの文化について話す機会がありました。その授業で日本の文化だけでなく、日本の社会問題についても意見を交換できました。現地学生と多くの対話をし、鹿児島大学で異なる文化圏の学生たちと対話し、多くのことを学びました。特に、世界的に問題となっている人種や宗教についてさまざまな話を交わし、私が偏狭な視点を持っていたことに気づき、問題解決のためにより広い視野で物事を見ることができるようになりました。

日本の大学の授業方法はアメリカや韓国の授業とは大きく異なり、授業のスケジュールが最初は経験したことのない方法でした。韓国やアメリカでは1つの科目あたり週に少なくとも2回の授業があるのに対し、日本の大学では1つの科目につき1回しか授業を受けないため、1学期に多様な科目を受けることができ、サークル活動も活発で多様な分野の経験を奨励される点が、私が経験した大学とは異なると感じました。

私が日本を交換留学の目的地に選んだ理由は私にとってなじみ深い国であり、よく知っている国だと思ったからです。しかし、私が経験した日本は未知の国でした。そのため留学期間を通じて多くのことを学びました。まず日本という国について単に旅行や映像を見ながら学んだことよりも詳細に学ぶことができ、異なる国から来た学生や日本の現地学生と授業を共にすることで、日本の人間関係についても学ぶことができました。鹿児島大学で学んだ東アジア史経済学は平素から興味があった科目で非常に有益であり、アメリカの学校で活用できることを期待しています。

↓友達と「おぎおんさあ」を観に行きました。大迫力！



↓鹿児島のうなぎは美味しい！

